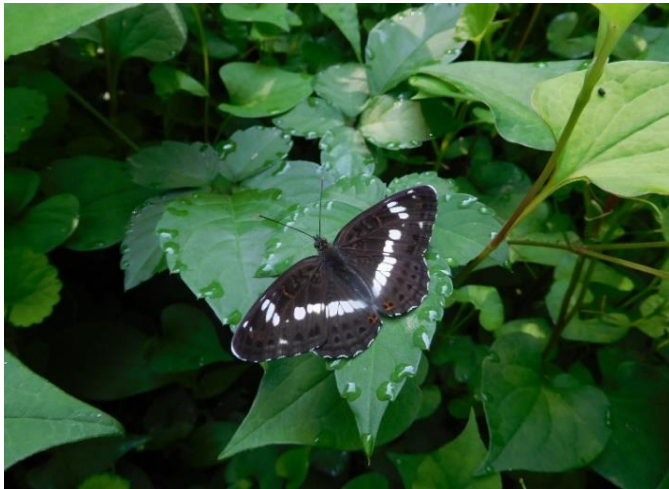
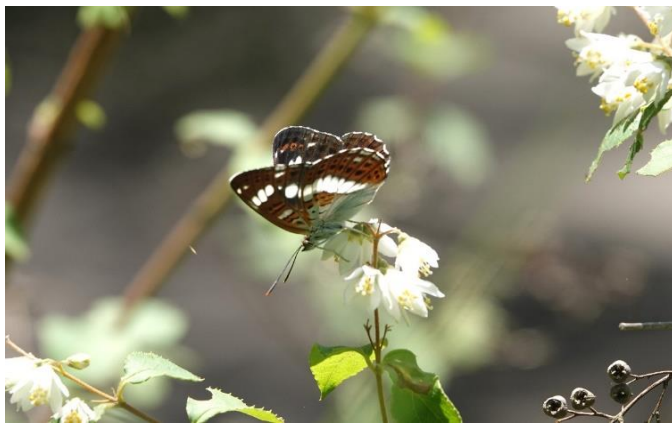


和名	分類	特徴ほか	会える場所			
			ハイム	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他
イチモンジチョウ	タテハチョウ科	一本スジが通った タテハチョウ	X	X	○	全国



生田緑地 5月下旬



生田緑地 5月下旬ウツギで吸蜜



石垣島（八重山諸島）で見られるヤエヤマイチモンジはオス（左）がイチモンジチョウタイプ、メス（右）がミスジチョウタイプと他にはない羽模様のとらあわせ（2月中旬 石垣島吉野）

（写真左）ヤエヤマイチモンジ♂。葉上でテリトリーを張る



（写真右）同♀。葉上で開張し日光浴

成虫発生時期（月）											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
食草 ○ 食樹							発生回数/年		越冬形態		
スイカズラ、タニウツギほか							3~4		幼虫		

幼虫時代の食樹の関係でハイムや多摩川土手では見られませんが、生田緑地では普通に見られるタテハチョウです。「白い一本の筋が通っている」という羽模様からの命名でハイムでも時々見かけるコミスジとは、白い筋が一本と三本という差があります。また、パタパタ羽ばたいては滑空という気まぐれでいかにも気持よさそうなコミスジの飛び方に比べると一般的なタテハチョウのしっかりした飛び方です。



【蝶の名前のつけかたの例】

・サカハチチョウ
(この向きでは逆「八」ではない)



・コミスジ
(白い筋が確かに3本)